

Track 3.

二人でいれば

手を堅く握りしめたまま 明け切れぬ空を眺めてる
窓ガラスに写るのは 無機質なビルばかり
この街で僕ら二人は 時代の息吹を感じていた
でも今ではそんな思いも すっかり霞んで

春の訪れと一緒に すべては始まったよね
空はもっと広がったはず 二人でいれば

傷ついてしまったのは 誰のせいでもないよ
あの時できるすべてを 尽くしただけだから
この街を離れる日が 来ることは知っていたけど
もしかしたらもう少し 違った形だったかも

何でもないことで いがみ合ってしまった
最後はきっと元のように 戻れると思ってた

これから待ってるのは ずっと静かなところらしい
遠く耳をすませば 波の音も聞こえるかも
この街はこれからも 夢を見続けるだろう
僕らも昔は そうだったみたいに

これでよかったのか 今でも分からないけど
たとえもう会えなくても 心は同じはず

季節はこれからも めぐり続けていこう
そして空はいつも青いはず 二人でいれば